

5月号（No.七四）の掲載が遅れました お詫びします HP担当

緑葉だより

No. 7 4

平成30年5月5日

本日の時間割 (司会 勝幸さん)

10時00分 席題の選者決定
05分 互選の投票・集計

20分 席題発表(20分間吟)
40分 出句締切(3句)
10時50分 互選(進行役敦世さん)
12時00分 宿題「雨」出句

出句後昼休み

13時05分 島田駱舟先生の講話
14時00分 句会・駱舟先生選
15分 席題披講
30分 閉会

1. 4月の会員活躍状況 おめでとうございます！

4月の会員活躍状況

◇東葛川柳会 4月句会 (4月28日)

宿題「役」 山本由宇呆選

特選(地) 役得と考え無理な役受ける 敦世

2. 4月の緑葉の勉強 第14回吟行句会(牛久シャトー)

4月の緑葉の勉強

◇哲男先生の講座 休講

ゲストに、堤 丁玄坊先生をお招きしての講話
「川柳の評価と数値化」 川柳展望社の試み

課題「飛ぶ」

採点基準

- ①題に合致しているか 5点
- ②新鮮さ、独自性 15点
- ③迫るものがあるか 10点
- ④リズムはいいか 10点
- ⑤川柳味はあるか 10点

50点満点で評価した点者6名の総合点でランク付けの結果

まっすぐに飛んで行かねばならぬ弾 (215点獲得)

4名が総得点トップに評価。②と④に高得点

- 老齡化 蝶々になって飛ぶ漢字 (160点〃)
- 目に見えぬ飛行機が飛ぶ空の道 (158点〃)
- 飛び石でも連休にせぬのが役所 (152点〃)
- ナビにない道空飛んでいる車 (138点〃)
- もやし半額飛ぶように売れていく (136点〃)

堤 丁亥坊先生の提言

- ・作品の評価を数値化するのは面白い試み
- ・一人選は思い込みの強さで弊害あり。客観的評価ができる
- ・時間的に余裕のある誌上大会なら実現できるのではないか 1
- ・採点基準の配点で結社のカラーを出す(例・ユーモアに高配点)
- ・川柳業界発展のためにも数値化はいい方向になるのでは
- ・他人の句を鑑賞するにあたってポイント別に分析する習慣づけを
- ・句づくりにもポイント別に推敲する癖を(精詠)

3.

緑葉6月例会

6月2日(土) 柏パレット3階「D」

10時開会

- ① 席題「20分間吟」3句 二人選 (選者と課題 当日発表)
- ② 「互選」を行う。課題「自由吟」を1句つくって
投句先は、千代子さんまで。 5/20 締切厳守
- ③ 江畑哲男先生の講座

東葛川柳会5月句会

4. 5月26日(土) 12時30分開場

会場は、アミューゼ柏プラザ
宿題は、「合意」「強引」「ゴール」「自由吟」

5. 「ひるどき川柳」コーナー(選者江畑哲男先生)

NHK千葉放送局 ひるどき情報ちばFM (11時~12時)

6月の題は、「憂鬱」 締切は6月4日(月) 必着

入選作発表 放送日6月14日(木)

6. 「おもしろ川柳教室」開催

- ② 5/17(木) 句語の発見 講師 江畑 哲男
- ③ 6/21(木) 発想、表現を豊かに 講師 津田 暹
- ④ 7/19(木) 推敲、選句力UPと今後の取り組み //

場所 船橋中央公民館(船橋駅南口徒歩7分)

参加費 1回千円 全4回通しは3千円

主催 千葉県川柳作家連盟 (窓口 島根 写太さん)

2

7. 野田川柳会第7回吟行句会 5月10日(木)

「梅郷駅」に9時集合、バスにて移動

グリコピア千葉工場と「龍Q館」見学して、庄和南公民館

会費3千円(昼食付) アトラクションは和太鼓演奏

8. 野田川柳会 会報「ひばり」100号記念

ひばり川柳大賞募集! 未発表の自由吟 3句まで

応募締切 6月30日 発表は10月の野田市市民川柳大会にて

選者 江畑哲男 高鶴礼子 津田暹(敬称略)

賞金 大賞には3万円、副賞に1万円(2名)

各選者賞として1万円が贈呈される

会員近況

(日常に思うことなど綴ってご協力を。来月はあなたも)

▼塚本 康子さんから 『緑葉吟行会に参加して』

昨日はお天気にやきもきした分、皆様なごやかにどこにも笑顔が溢れている楽しい吟行会でした。

私は丁亥坊先生の目新しい発想の紹介がとても刺激になり、川柳会に於いても多角的な選を議論していることを知り、嬉しく思いました。評価にはこだわらず自分の心を吐きだす川柳と心得てのんびり句会に参加はしているものの、多くの選者(自分も時々)の目はそれぞれに多様で、時には?があります。難しいですね。

牛久の街路樹も多色刷りで芽吹いています。緑葉の葉は如何でしょうか、散る葉、残る葉、新しく生まれる葉。

ますますの会の発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

▼酒井トミオさんから 『牛久シャトーを訪ねて』

(『ぬかる道』5月号に掲載)

4月7日土曜日、川柳会・緑葉の吟行句会である。吟行先は牛久シャトー。心配していた雨も朝方には降り止んだ。集合場所は柏駅、皆さん早めの到着である。皆さんが交わす挨拶はとても楽しそうに見える。本音を詠う川柳仲間だから親しみが深いのだろうか。

8・57勝田行きで電車で牛久駅に向かう。24分の立ちん棒である。

今年は記録的な早咲きで、残念ながら葉桜となってしまった。牛久シャトーの正門前で野澤修さんから開催の挨拶があり、参加者はキャンセルもあって40名とのこと。吟行の時間は60分と指示が出て、各自施設見学に向かう。

創業者の神谷傳兵衛はかつて激しい腹痛に襲われたことがあって、ぶどう酒を飲むことで病苦を脱したという。ならば土産にぶどう酒をと思い、ぶどう酒の試飲もしたが重いのでやめた。20分くらいで施設見学を終えると皆さん、園内のイスに腰掛けて作句に専念。傳兵衛の多大な業績をアバウトに理解して、牛久シャトーを後にする。

次に向かうのは土浦の句会場である。牛久周辺では行楽シーズンという事でもどこも利用予約ができず、土浦まで移動となった。電車で20分、土浦駅の目の前の県南生涯学習センターが句会場である。

会長の六斎堂茂雄さんから参加者への謝辞と雨を心配し胸を痛めたとの挨拶があり、句会が始まった。出句締切は12..50、会場内は一気に空気が張り詰める。この雰囲気がまた尊い。出句に続いてゲストの堤丁玄坊先生の講話、「川柳評価の数値化」を聴く。内容は興味深い講義であった。興味深いと思った理由は、川柳雑誌の『川柳マガジン』の記事にあります。一つは「句会や大会で当該句を選入するか没にするかは選者の一存で決まります。選者は神様なのです」という阿部勲氏の文章と、二つ目は四人選による誌上句会における各選者の特選や秀作が毎回ほとんど重ならないという事実です。このことから、一人選では客観性に欠けると思っていたところへ、評価の数値化の講義を聴けたのは幸運でした。

続いていよいよ披講に入る。選者が披講された句がプロジェクターで映し出される。結果は次のとおりであった。

宿題「こだわる」 海東昭江選

天 五番線五番扉の右の角 伊師由紀子

宿題「ナンセンス」 岡さくら選

天 綻びを繕うように嘘重ね 海東 昭江

囁目吟 長谷川庄二郎選

天 吟行会昭和の娘花盛り 桑原 ふき

14..40に句会は終了。会場近くの日本料理店で30名が参加しての懇親会。今年も竹内勝幸さんの企画で盛り上がった。美味しい料理に充分飲んでうるさく騒いで2500円。皆さんのご協力により吟行句会は無事終了。帰宅して間もなく、小雨が降り出した。

▼ 野澤 修さんから 『日本の国草は大麻？』

日本の国の花はなんですか？ 魚は？ 鳥は？
今回は国の何何を考えてみましょう。

国花は桜、国魚は鮎、国鳥はキジ、国蝶はオオムラサキなどなど、知られているでしょう。では、国草はなんですか？大麻草(大麻)なんです。知られていない。これはマリファナに幻覚作用があるからです。厚労省によると、古くから衣服などに用いられるため栽培されてきましたが、戦後、GHQの指示で全面禁止になった後、農家保護のために大麻取締法が制定され、免許制となりました。

もともと大麻草は、縄文時代の昔から日本人の生活(衣・食・住)と密接に関わってきた植物であり、また燃料用、医療用、祭事用、神事用にも使われ親しまれてきた植物で、戦前は国家により奨励されてきました。かつての日本の生活の中では、赤ちゃんが生まれるとへその緒は麻糸で切り、子供は麻のように丈夫に育つようにと麻の葉模様様の着物で育てられ、結婚式では麻糸で夫婦の髪を結ぶ儀式が行われて来ました。

大麻草の栽培が全面取締りの対象になっていっていると思っていたのですが、実は、栽培が認められていたのです。全国最多の19人に許可を与える栃木県では江戸時代から大麻栽培が盛んで、国産の大麻繊維の96%の2712キロを生産、神事用や大風の綱などに使われています。とはいえ栽培は大変です。盗まれないようにフエンスで囲み、防犯カメラ、そして夜の見回りもします。過去に盗難が有ったからです。

島根県でも栽培されています。このほど、三重県でも神事用の大麻草の栽培が許可されました。栽培が認められたのは伊勢麻振興会「伊勢市にあります。けがれ」を払う効果があるとされ、神職がお祓いやしめ縄などに使われます。やはり日本の神々に捧げるものは、日本の神々の恵みを受けたものでなければなりません。外国産の麻や合成繊維ではカリフォルニア産の米でのお神酒のよう「だめ」ということでしょうか。

まあ盗難対策を厳重に栽培、日本の伝統を守って欲しいものです。

次回は「国菌Ⅱ 国の菌」です。